

～国民春闘共闘委員会 2014年春闘共闘年次総会～ 大黒作治代表幹事・開会あいさつ

2013年10月25日

開会にあたってご挨拶を申し上げます。今年次総会の目的は、13春闘を総括し、新たな情勢のもとで来春闘は何処に突破口があるのかを分析し、1年間の闘いの意思統一を図ることです。

今月15日から12月6日まで第185回臨時国会が開会されています。

安倍首相は、この間、「福島原発の汚染水は完全にブロックされている」と実態を無視し、原発再稼働や原発輸出推進の態度を示しています。ニューヨークでは、集団自衛権の解釈改憲や「自分を軍国主義者というなら言えればいい」などと開き直り、今国会での機密保護法の成立を狙っています。

来年4月からの消費税8%引き上げの実施を表明し、震災財源である法人税の前倒し廃止や大企業減税など大企業優遇政治を推進する露骨な態度を示しています。

T P P交渉でも、秘密主義で国民に知らせず、公約していた農産物重要5項目に手をつけ、国民皆保険制度や食の安全基準の緩和、投資家対国家紛争で国の主権を侵害するI S D条項など国民生活や地域経済に重大な影響を及ぼすことは必至です。

財界には「世界で一番企業が活躍しやすい国をめざす」と約束し、労働法制の改悪など数を頼りに暴走政治を加速しようとしています。世論の動向を気にするのがこの内閣の特徴でもあります。

課題の第1は、来春闘についてです。4月から消費税を8%に引き上げることに對して、政府も財界に賃上げを要請し、財界も重い腰を上げるかのポーズをとっていますが、法人税減税で賃金に回すと答えた企業は5%です。「アベノミクス」で恩恵を受けたのは大企業と資産家であり、中小企業や労働者は、円安による物価上昇だけ押し付けられているのが現状です。

勤労者の年収はこの15年間で70万円も落ち込み、今月からは年金も1%カットされます。公務員賃金削減に関しても、特措法の扱いは未だ不透明であり、財務省からは地方交付税の削減分は死守するとの態度も垣間見えます。

私達は、今年の春闘で「賃上げこそデフレ脱却の道」だと世論を喚起し、国民の間に「賃上げが必要」と根付いてきたのは大きな財産です。これ以上の生活破壊を許さないために、従来とは違う要求額の確立、たたかひの意思統一と行動の集中、文字通り国民春闘にしていくために、職場と地域で何をするのかを具体化することが重要です。

二つは、安倍内閣は、労働者・国民に8兆円もの増税を押し付けながら、景気対策と称して大企業を中心に6兆円もの減税をばらまくといい。消費税を引き上げるからと景気対策が必要と言う。だったら、消費税は上げなければ済むことであり、粘り強く「4月からの消費税の引き上げを中止せよ」の1点での共同を強めたいと思います。

三つは、「雇用改革」が「成長戦略」に据えられていますが、「限定正社員制度」や労働者派遣法の改悪を許さない共同を発展させたいと思います。6年前、「残業代ゼロ法案」は世論の力でつぶし

ましたが、「限定正社員制度」の導入などには、連合の皆さんも「正社員ゼロ法案」だと言っているように、手を取り合ってたたかえる課題です。

今日、非正規労働者は2000万人以上、労働者の38%を超え、若者や女性の5割以上は最賃すれすれで無権利な状態で働かされており、「ブラック企業」が横行し、社会人としてのスタートで正規についたと思っても、長時間労働とパワハラで心も体も壊される若者が後を絶たないという現状は放置できません。

同時に、非正規への置き換えや非正規労働の固定化などを狙う労働法制の改悪を食い止めるには、労働組合の役割が決定的です。「雇用改革」と言っては、労働分野の規制緩和をどんどん進める安倍内閣の「成長戦略」を阻止するために共同を大きく広げていきたいと思えます。

四つは、最賃や公契約運動を大きく発展させる課題です。最賃は全国平均で15円引き上がり、時給764円となりましたが、東京は869円、島根、鳥取、高知など9県が664円、700円未満が19県など、地域格差は拡大する一方です。全国一律最賃制や早期に1000円以上を実現するために特別の取り組みが必要です。

最賃の改善と合せて公契約制定運動も広がりを見せています。これらの課題が、非正規労働者の処遇改善と結びつくことは言うまでもありません。非正規や未組織労働者の組織化はなかなか困難ですが、単産独自の努力や幾つかの地方では産別組織と一体でヘルパー、タクシー、トラックなどの組織化に向けた努力も始まりました。来月の春闘討論集会も含めて、貴重な経験を交流し確かな流れを作って行きたいと思えます。

最後に、3度目の冬を迎える大震災からの復興に力を注ぐことや福島原発の汚染水解決は一刻の猶予もならない課題です。また、オリンピックで東京一極集中と地方経済が一層疲弊すると懸念されており、地域総行動で地方から大きな共同のうねりを作って行きたいと思えます。

本日の総会が、春闘準備に向けて活発な討議の場となることをお願いして開会のあいさつとします。

以上